

年中 「ぼく、ここおさえてるね。」「OK！ありがと〜」

3学期になって、部屋にあるカレンダーを見ながら『もうすぐで年中さんが終わること』『4月からは年長さんになること』をみんなで話しています。“かっこいい年長さんになりたい！”と、もうすでに意気込んでいる子、“年長さんになるって、なんだかドキドキするなあ”と思う子、子供たち一人一人が違って、それぞれの姿があり、残りの年中さんの生活を大切に過ごしています。

年長さんに向かっている子供たちの一場面をご紹介します。今までは先生と一緒に片づけていた机やおうちごっこで使った布を、最近ではお互いに声をかけあって子供たちだけで片づけています。「ぼく、ここおさえてるね。」「OK！ありがと〜」と机の脚をたたんだり、「そっち持ってくれる？」「わかった！」「もうちょっとみぎだよ」「OOくん！そこ持っていると、手のはさまっちゃうからきをつけてー！」と持ち上げて重ねたりしている姿から、視野が広がったり相手を思ったりしていることが伝わってきます。私から「なんだか年長さんみたいだね」「OOくんのことを考えて言っていて優しいね」と声をかけられると嬉しいやら恥ずかしいやら、照れちゃうなあとニッコリ。今の自分ができることを、友達と力を合わせて一つずつ積み重ねて、年長さんに向かっていってほしいなと願っています。

年中副主任



ぼく、ここおさえてるね。

OK!
ありがと〜



OOくん！
手、気をつけて！

おいしょ！
おいしょ！

きれいに
かさねよう♪

